

学部名	文学部
学科名	人文社会学科

文学部のディプロマポリシー	文学部のカリキュラムポリシー	文学部のアドミッションポリシー
<p>【学位授与の前提となる教育理念と目的】 奈良女子大学文学部は、人間という存在を深く理解し、社会を総合的に鋭く認識する女性の育成を目指します。幅広く深い教養をもとに、人文社会科学、言語文化学科、人間科学で展開する諸分野に関する学修を通じて、専門的知識や技能を身につけ、主体的に課題を発見、分析、解決する実践力を養います。そして、グローバルな視点から自分の考えを的確に表現、発信できる積極的な人材を育成します。</p>	<p>【文学部のカリキュラム構成】 奈良女子大学文学部では、入学後に学生自らが学科・コースを選択していく制度をとっています。2年次から学科に所属し、3年次にコースを選択します。文学部の専門科目として「学部共通科目」「学科科目」を開講します。「学部共通科目」(基礎演習、概論等)では、専門分野の基礎的な知識を獲得するとともに、情報リテラシーやコミュニケーション・スキルを養います。2年次以降に履修する「学科科目」(特殊研究、講読、演習、実習等)では、自身の課題を探求するための深い専門性を身につけます。最終年次に、これらの学びの集大成として卒業論文を作成します。</p>	<p>【文学部の教育理念】 21世紀の日本社会は、複雑で困難な諸課題に直面しています。奈良女子大学文学部では、とくに人間と社会にかかわる諸問題に取り組み、解決に導く能力を身につけるための高度な専門教育を推進しています。豊かな知性と感性を持ち、主体的に学び実践する女性が日本の社会を変えていくことを確信して、文学部では「社会への鋭い認識」「国際的視点に立った思考力」「人間への深い理解」を育むことを教育理念としています。</p>
<p>【身につけるべき力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感受性と鋭い洞察力をもち、人間とは何かについて深く考える力 ・社会における諸事象を俯瞰し、批判的にとらえ、的確に判断する力 ・歴史・文化・言語・地域についての確かな認識をもとに、自らの考えを発信する力 ・主体的に課題を発見・分析し、解決に取り組む力 	<p>【文学部の教育内容与方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化に対する理解を深め、国際社会を視野に入れた思考ができるよう、2カ国語以上の外国語を習得します。 ・大学における多様な学問に触れ、幅広い教養を身につけるため、大学の教養教育の理念に基づき、4年の学修期間を通して教養科目を履修します。 ・文学部での学びの導入として、1年次での「基礎演習」や「学ぶことと女性のライフスタイル」の履修を通じて、自ら問題を発見し論理的に思考する力を養います。 ・演習、実習等では、少人数の履修者による主体的・協働的な深い学びをつみ重ねながら、専門的スキルを高めます。 ・幅広い視野を獲得し、学際的な研究テーマに取り組むことを可能にするため、「学科科目」の大部分は、他学科の学生も自由に履修することができます。 ・文学部が取り組む「なら学プロジェクト」「ジェンダー言語文化学プロジェクト」関連科目の履修により、さまざまな学問的アプローチによる最新の研究成果に触れることができます。 ・「卒業論文」は、全学科・全コースで必修です。 ・「卒業論文演習」では、専門的知識に基づいて課題を発見・解決するプロセスを履修者全員で共有し、ひとりひとりが的確な「ことば」で論理的に説明する能力を高めます。 ・6年一貫教育プログラムでは、学部から大学院博士前期課程まで継続的に研究を行うとともに、留学などの学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。 	<p>【文学部の求める学生像】 上記の教育理念にもとづき、文学部は次のような学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な知識をもとに、ものごとを論理的に表現する学力を培ってきた人 ・多様な文化、現象に関心を持ち、自分自身で課題を見つけ出そうとする人 ・教師や友人たちとともに学び、相互理解と共感を通じて、人間的な豊かさを求めようとする人

人文社会科学のディプロマポリシー		人文社会科学のカリキュラムポリシー		学科の学習成果					
<p>【学位授与の前提となる教育理念と目的】</p> <p>人文社会科学は、歴史学・地理学・社会学などの人文科学諸分野が有機的に連携し、時間(歴史的)、空間(地域的)、関係(社会的)の3つの観点から履修コースを設定して体系的教育を行います。奈良をはじめ日本や世界の文化と社会の多面的な理解に基づき、批判的な観察と論理的な分析を通じて的確に判断し、表現できる力を身につけ、激しく変化する社会と文化に対して、自ら問いかけ、主体的に解決に取り組む女性の育成を目的とします。</p>		<p>【人文社会科学のカリキュラム構成】</p> <p>人文社会科学は、社会と文化について広い視野から主体的に考えるために、古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の多様な5コースから成ります。歴史学・地理学・社会学を軸に各コースが連携することで、過去から現在に至る人間の諸活動について体系的に学び、発展的に知識を獲得し、学術的スキルを磨くことができるようにカリキュラム構成が配慮されています。</p>		<p>(◎=学習成果を上げるために履修することが特に強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p>					
【身につけるべき力】		【人文社会科学の特色ある教育内容と方法】		教養		専門性			創造性
<ul style="list-style-type: none"> 資料・史料や文献を読み解き、体系的理解に基づいて新たな情報を客観的に分析し、論理的に考えて表現する力 フィールドワークや調査を通して多様な人々と協調・協働し、コミュニケーションできる力 社会の変化に対して自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、問題解決に取り組む力 		<ul style="list-style-type: none"> 社会・地域・文化に関する知識を獲得するために、時間(歴史的)、空間(地域的)、関係(社会的)の3つの観点を体系的に学ぶための科目を開講しています。 		異文化に対する理解を深め、国際社会を視野に入れた思考を身につける	時間(歴史的)、空間(地域的)、関係(社会的)の3つの観点を体系的に学ぶ	資料・史料や文献を読み解き、体系的理解に基づいて新たな情報を客観的に分析し、論理的に考えて表現する	フィールドワークや調査を通して多様な人々と協調・協働し、コミュニケーションできる力をつける	社会の変化に対して自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、問題解決に取り組む力をつける	
カリキュラム									
科目番号	授業科目名	学習目標	対象学生	開講期					
1100001B1	基礎演習A	<p>「大学で自ら学ぶ」ためには、自ら知的な好奇心を持てるようになることが最も重要なことである。そのために基礎演習では「自ら問題を発見し解決する能力」と、それを表現し、他者に伝える「コミュニケーションする能力」の「大学で自ら学ぶ」ためには、自ら知的な好奇心を持てるようになることが最も重要なことである。そのために基礎演習では「自ら問題を発見し解決する能力」と、それを表現し、他者に伝える「コミュニケーションする能力」の二つの能力を身につける。前者については、文献の収集と講読、フィールドワークなどを行い、資料やデータを集める能力、さらにそれらを批判的に読み解き、自ら思考する力がその基礎となるだろう。後者については、自分の考えをレジュメや文章として表現し、また人前で発表する能力、さらには、他者の意見を理解する能力がその基礎となるだろう。基礎演習とはこうした諸能力を身につけるための授業であり、これらはA~Hに共通の目標である。</p>	1回生	前期	○		○	◎	◎
1100002B1	基礎演習B		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100003B1	基礎演習C		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100004B1	基礎演習D		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100005B1	基礎演習E		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100006B1	基礎演習F		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100007B1	基礎演習G		1回生	前期	○		○	◎	◎
1100008B1	基礎演習H		1回生	前期	○		○	◎	◎

1100011A1	なら学概論B	奈良についての知識を身につける(汎用的知識)。観光などの観点から奈良という地域の魅力資源の発掘について、奈良で活躍するゲスト講師から学び、さらに受講生自らがレポートを書いたり、観光地図を描くことによってその方法の基礎を経験する(汎用的スキル)。	1回生以上	後期		○				○
1100014A1	日本史概論A	・日本古代史に関する理解を深化させる(知識・理解) ・歴史への理解を基礎に、現代日本を見る視点を深める(汎用的スキル)	1回生以上	前期		◎				
1100015A1	日本史概論B	歴史を学ぶ目的は、過去の出来事をただ知ることではない。過去を眺めながら、それを素材に、「現代」とは何かを、「人」とは何かに思い巡らせることである。その観点にたった新たな歴史の描き方を模索してもらう。	1回生以上	後期		◎				
1100016A1	東洋史概論A	新旧の教科書記述を比較検討して論点を導き出す(論理的思考力) 中国史の独自性とダイナミズムを理解する(異文化理解)	1回生以上	後期	◎			○		
1100017A1	東洋史概論B	中央ユーラシア史について基本的な知識を得る(知識・理解)。	1回生以上	前期	○	◎				
1100018A1	西洋史概論A	ヨーロッパ史の大きな流れを、西ヨーロッパの環境と文化的特性から考える。	1回生以上	前期	○	◎				
1100019A1	西洋史概論B	西洋において長年かけて培われ、社会に根を下ろしている様々な象徴表現や慣習の成り立ちや影響について学び、西洋の歴史と文化についての表層的ではない教養を得る(知識・理解)。それをふまえて論理的に思考し、西洋の歴史の重要な動因、西洋文化の特質と影響について各自の見解を形成して表現できるようになること(汎用的技能)を目標とする。	1回生以上	後期	○	◎				
1100020A1	考古学概論	考古学の方法論を学び、先史時代の環境適応戦略、生業・生産活動の変容、国家の萌芽ならびに形成過程を発掘調査資料をもとに理解する。	1回生以上	前期		◎		○		

1100022A1	日本美術史概論	古代・中世の日本美術の歴史を踏まえつつ、美術史に取り組む基本姿勢から、基盤となる教養までを身につける。 近郊の寺院・博物館に仏教美術の作品を見に行き、それに関する文献を調べることができる。 仏教美術を鑑賞し、造形を言語化するとともに考察するスキルを身につける。	1回生以上	前期	◎		○		
1100023A1	社会学概論A	・社会学の理論と方法に関する基本的理解を身につける（知識・理解） ・社会現象を社会学の視点から捉える力を養う（汎用的技能）	1回生以上	後期		◎	○		
1100024A1	社会学概論B	この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。 ◆知識・理解 *社会学の理論と研究方法について基本的に理解すること。 *主要な研究領域におけるおもな研究動向を把握すること。 *さまざまな社会現象を社会学的視野から洞察すること。 ◆スキル *さまざまな社会現象の趨勢と過程を社会学の諸概念を用いて捉えること。 *自分自身の見方を形成しつつ、文献を批判的に検討し、それをレポートで表現できること。	1回生以上	前期	○	◎	○		
1100027A1	地域情報学概論A	身近な日常的话题から、都市や地域の背景に潜む構造を読み解くための理論や方法論を身につける（知識・理解）。	1回生以上	前期		◎	○		
1100028A1	地域情報学概論B	身近な日常的话题から、都市や地域の背景に潜む構造を読み解くための理論や方法論を身につける（知識・理解）。	1回生以上	後期		◎	○		
1100029A1	人文地理学概論A	近・現代の人口増加、都市の成長による人間の活動の変化とそれに関わる人文地理学の視点について理解するとともに、野外見学などを通じて身近な地域における地理学的な視点の重要性を理解することを目標とします	1回生以上	後期	○	◎		△	

1100031A1	自然地理学概論A	<ul style="list-style-type: none"> ・気候学の基礎知識を習得することにより、日本や世界における降雨や気温、風系、季節変化の仕組みを理解し、地球上で地域差が生じる要因を考える能力を身につける（論理的思考力）。 ・自然現象に関する情報・知識を論理的に分析する能力を身につけ、自然環境と人間活動との関わりから地域を捉える視点を養う（人間の文化・社会と自然に関する知識の理解）。 	1回生以上	後期	○	◎				
1100032A1	自然地理学概論B	<ul style="list-style-type: none"> ・自然地理学(地形学及び関連分野)の基本的知識を理解できる(知識・理解)。 ・自然地理学(地形学及び関連分野)に関する情報・知識を論理的に分析、表現できる(汎用的技能)。 ・自然地理学(地形学及び関連分野)に関し、履修後も自律・自立して学習できる(態度・志向性)。 	1回生以上	前期		◎	○			
1100033A1	環境社会学概論	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に対する社会的なアプローチのしかたを学び、その特徴を理解する。 ・個別の環境問題に対して、社会的観点から分析し、解決するための政策を立案することができるようになる。 	1回生以上	前期		◎				○
1100034A1	文化人類学概論	<p>婚後居住規定と出自、言語の構造、宗教と儀礼等の基礎的項目は、他の文化人類学の関連科目の授業においても必須であるので、十分に理解することを目指します。</p> <p>同時に、世界各地の民族と多様な生活文化、社会制度と宗教の理解する能力を涵養します。</p>	1回生以上	前期	◎					
1100035A1	文化社会学概論	<ul style="list-style-type: none"> ●「文化」というものを、言語や伝統・宗教、生活文化やサブカルチャーといった項目別の「知識」として把握するのではなく、どのような「はたらき」を有しているのかという、社会的な視点から学ぶ。 ●原典の読解力や社会的議論の構成力も習得する。 	1回生以上	後期	○		○			○
1100036A1	法学概論A	法とは何か、法的思考とはどういうものか、法の社会的役割とは何かについて理解する。	1回生以上	前期		◎	○			
1100038A1	政治学概論A	行政学に対する基礎的知識を習得する。(知識・理解) 公共政策を分析・解析するスキルを身につける。(汎用的技能)	1回生以上	前期		◎	○			

1100040A1	経済学概論A	本講義の受講により、日々の経済事象や日本および世界の経済情勢に関して、理論的フレームワークに基づいた分析や理解ができることを目標とする（数量的スキルと論理的思考力）。	1回生以上	前期		◎	○		
1100043A1	地誌B	受講生は、多様な自然環境、人文・社会的環境の下、世界および日本には様々な特徴を持つ地域が存在することを、具体例を通して認識し、それらの現状・課題などについても高い関心が払えるようにする（異文化理解）。さらに、地誌に関する情報・知識を論理的に分析・表現できる技能を身につけ、国際的な視野から地域の問題を考えられるようにする（論理的思考力）。	1回生以上	前期	◎	○			
1210002A2	日本古代史特殊研究B	・日本古代に関する事象理解の深化（知識・理解） ・歴史学における抽象化・推論等のスキル獲得と応用（汎用的能力）	2回生以上	後期			○		
1210004A2	日本史特殊研究A	様々な学問知が、歴史学を進展させるために不可欠であることを理解する。 人の認識能力が十全ではないことを理解する。 過去への視線と未来への視線が、全く異なることを理解する。	2回生以上	前期		◎	○		
1210005A2	日本史特殊研究B	研究史を知るだけでなく、その背景・必然性まで理解する（知識・理解）。 古代国家形成史について現在の課題を考え、史料を用いて具体的に考察する（汎用的技能）。	2回生以上	後期		◎	○		
1210006A2	日本史特殊研究C	近年の歴史学の成果を織り込みながら、前近代と近代との連続性のなかで歴史を見る目を養いましょう。細かな知識、知見を平面的に習得するだけでなく、それらの知見が実現する諸価値を重層的に把握し、歴史を論理的に理解することをめざします。重要なことは、常識をうたがうことであり、また世界の实在を信じることです。歴史はそうした思考のありかたの、よい道標になってくれます。本講義の目標は、そのことを実感することです。	2回生以上	前期		◎	○		
1210008A2	日本史特殊研究E	日本史の研究において、時に自明の前提とされがちな日本という認識の枠組みもまた歴史的に形成されたものであることを理解する。さらに、その理解をとおして、歴史研究の方法を問いなおす。	2回生以上	後期		◎	○		

1210009A2	日本史特殊研究F	・古代日本で仏教が果たした役割について基礎的な知識を習得する（知識・理解） ・王権と仏教との関係をアジアを対象に分析し、日本の事例と比較する（汎用的スキル）	2回生以上	後期		◎	○			
1210010A2	東洋古代史特殊研究A	中国古代の社会階層の実態を、出土文字資料から理解する（異文化理解） 多様な史料の比較検討から社会と人間を論理的に考える（論理的思考力）	2回生以上	前期			○			
1210012A2	東洋史特殊研究A	・イスラーム思想史について理解する（知識・理解）。 ・地域間関係について考える視野を養う（汎用的技能）。	2回生以上	後期	○	◎	○			
1210013A2	東洋史特殊研究B	世界史・アジア史の基礎知識や研究手法を確認しながら、東アジアの近世史やベトナム近世史を積極的に学び（態度・志向性）、基本的な知識を身につける（知識・理解）。 ベトナム史、中国史、日本史を相互に比較しながら、東アジア史や世界史における各地域の歴史の位置づけを考える（論理的思考力）。	2回生以上	前期	○	◎	○			
1210014A2	西洋古代史特殊研究A	1. 受講生は、紀元前4世紀アテナイ史の基本資料である法廷弁論を通じて、古代民主制の特徴を理解することができる。 2. 受講生は、講義をつうじて、公共圏と女性の関係について学び、ジェンダー史への視角を養うことができる。 3. 受講生は、講義をつうじて、法と社会との関係について、学ぶことができる。	2回生以上	後期	○	◎	○			
1210016A2	西洋史特殊研究A	(1)「都市」ということばが持つ意味について考える。 (2)古代の施設の利用を考える (3)政治的施設、宗教的な施設などの公共施設と私有施設のありかたを考える (4)広場、道路、水路について考える	2回生以上	後期	○	◎	○			
1210017A2	西洋史特殊研究B	キリスト教とヨーロッパ諸地域の相関関係を踏まえ、中世ヨーロッパ世界の政治的・経済的・文化的な特徴とその形成過程を把握する。	2回生以上	前期	○	◎	○			

1210018A2	西洋史特殊研究C	両大戦期イギリスのジェンダー問題に関する専門的知識を獲得し、この時代やテーマを分析する上での適切な方法論を理解することで、汎用性のあるアプローチを身につける。	2回生以上	前期	○	◎	○		
1210020A2	考古学特殊研究A	考古学研究における学際的研究の実践を理解する（知識・理解）。環境と人間との関わりを、時期ごとに内容を詳細に整理することによりそれぞれの時代における生産・経済史に対する環境考古学的理解を深め、先史・古代の社会・経済を多様な角度から考察する視点を養う（汎用的技能）。	2回生以上	後期			○		
1210021A2	考古学特殊研究B	東アジア地域の考古学を学ぶ上で無視できない中国と、さらにその奥にある中国北方の考古学について知識を取得し、自ら説明できる（知識・理解）。自然環境の相異に起因して異なる文化を発展させた両地域を、考古学的知見をもとに比較することで、多文化・異文化について論じることができる（汎用的技能）。	2回生以上	後期			○		
1210024A2	日本美術史特殊研究A	美術史学の最新の研究成果や方法論を理解する。 仏教美術の鑑賞の方法を身につける。 作品に関する文献を調べ、それに関する自分の考えをまとめることができる。 近郊の寺社・美術館・博物館に仏教美術の作品を見に行き、実見した作品について分かりやすく説明することができる。 授業の要点をまとめてポスターを作成し、分かりやすく説明することができる。	2回生以上	後期			○		
1210025A2	日本美術史特殊研究B	主に以下の三点を目標とします。 ①江戸時代の絵画に関する基礎知識を習得し、琳派の作品に関する理解を深めること。 ②絵画の造形上の特色について自らの言葉で表現できるようになること。 ③絵画を生み出した文化的背景について考察すること。	2回生以上	後期			○		
1210026A2	社会学理論特殊研究	①社会学理論に関する知識を、メディア、文化・趣味、コミュニケーションの観点から身につける（知識・理解）、②関心のある社会現象について、社会的・理論的に考察できるようになる（汎用的技能）。	2回生以上	後期		◎	○		

1210027A2	社会調査 法特殊研究A	社会調査スキルを身につける（汎用的技能）とともに、社会調査倫理の実践的習得を通じて倫理観や市民としての社会的責任を養う（態度・志向性）。	2回生以上	前期			◎	◎	
1210028A2	社会調査 法特殊研究B	社会調査によりデータ収集を行い、分析しうる形に整理していくための具体的方法（汎用的技能）、および分析についての基本的な考え方（汎用的技能）を修得する（知識・理解）。	2回生以上	後期			◎		
1210029A2	計量社会 学特殊研究	統計データの分析を行うにあたって必要となる統計学的知識を、基礎から段階的に理解していき（知識・理解）、社会調査から得られた数量データを扱うための力（汎用的技能）を養う。	2回生以上	前期		◎	○		
1210031A2	地域社会 学特殊研究	この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。 地域社会学の対象と研究方法について基本的に理解すること（知識・理解）。 地域社会学の専門用語と基本概念を理解し、それを用いて、さまざまな社会現象の趨勢と過程を捉えること（知識・理解）。 自分自身の見方を形成しつつ、文献を批判的に検討し、それを口頭やレポートで表現できること（汎用的技能）。 地域コミュニティの諸現象を説明するにあたって、経験的な事実に基づいてその妥当性を判断し、自分自身の立場を形成すること（態度・志向性）。	2回生以上	後期		◎	○		
1210032A2	家族社会 学特殊研究	「家族」が戦後日本社会のなかでどのように論じられてきたか、また、現代の日本社会においては「家族」をめぐってどのような論点があるのかを理解したうえで、「家族」について自ら問いを立て、その問いに対して資料等を活用しつつ論理的に思考する力を身につける。	2回生以上	後期		◎	○		
1210034A2	地理情報 システム 特殊研究	GISの基礎から応用まで、フィールドワーク・地図作成・空間分析のスキルを身につける（汎用的技能）。 作製した地図と考察に関する発表を通じて、問題解決にあたることを学ぶ（態度・志向性）。	2回生以上	前期			◎	○	
1210035A2	地域情報 学特殊研究	様々な地域現象を読み解くための理論的視点や資料収集・調査方法、そして分析方法を身につけることが目標である（知識・理解）。	2回生以上	前期		◎	○		

1210036A2	地域分析 論特殊研究	統計分析からモデル構築まで、 様々な空間現象を読み解く力を身 につけることが目標である（知 識・理解）。	2回生以 上	後期		○	◎		
1210037A2	地域文化 論特殊研究 A	グローバリゼーションに伴う労働 力の国際移動にかかわる諸理論や 概念等を理解するとともに、労働 力の国際移動にともない生じる、 受入先地域社会における様々な変 化や課題を検討し、今後進むであ ろう国内外の地域における国際化 のより良いあり方を考察できるよ うになることを目標とする。	2回生以 上	前期	◎	○			
1210039A2	人文地理 学特殊研究 A	この講義では、私たちの生活空 間・生活時間についてその基本的 なしくみを学ぶとともに、国や地 域によって異なる生活空間・生活 時間の在り方を、日本を中心とす る具体的な事例から学び、理解 し、社会で発生している問題を考 えていくきっかけを提供すること を目標とします。	2回生以 上	後期		◎		○	
1210040A2	人文地理 学特殊研究 B	東南アジア地域、特にラオスにお ける人間生活と自然環境の関係に ついての理解を深める。また、グ ローバル化によって変質しつつあ るラオスの社会・文化、人々の日 常生活や日本との結びつきにつ いても理解する。	2回生以 上	前期	◎	○			
1210041A2	社会地理 学特殊研究 A	社会的問題に対する人文地理学か らのアプローチの仕方を習得する （知識・理解）。また、基地の存 在が当該地域や国家の経済を支え ている現実を理解し、社会的問題 がはらむ諸側面について深く考察 する力を身につける（汎用的技 能）。	2回生以 上	前期	○	◎		△	
1210042A2	社会地理 学特殊研究 B	私たちの身近な地域が現在いかな る問題を抱えているのかを知る （知識の獲得、異文化理解）。そ して、それらの問題がどのような 背景から生み出されたものか多面 的に検討し、地域についての理解 を深めるとともに、課題解決への 道を探る（問題解決力、社会的責 任）。	2回生以 上	後期		○		◎	
1210044A2	気候・風 土学特殊 研究B	「生物多様性」の概念を正確に理 解する。さまざまな角度から生物 多様性にスポットをあて、生物多 様性を保全しつつ活用する方策に ついて考える。また、知識の暗記 にとどまらず自分の言葉で説明で きえるようになること、具体的事 例の抽象化と抽象的概念の具体化 という双方向の変換が行えるよう になることを目標とする。	2回生以 上	前期		◎		○	

1210046A2	環境変遷史特殊研究	人類紀（第四紀）の自然環境変動、とくに古環境変動に関わる基礎的な知識を学ぶ。自然環境を空間的に捉える視点に、歴史的にも眺める視点を加味して、現在～歴史・先史時代における人類史と自然環境との関わりについて理解を深める。	2回生以上	後期		◎	○			
1210050A2	地域自然環境論特殊研究	気候変動・地球温暖化に関する自然科学的な知識を習得するとともに、歴史的背景や社会への影響まで含めた総合的な理解を目指す（人間の文化・社会と自然に関する知識の理解）。ローカルからグローバルまでさまざまなスケールでの環境問題に対する意識を高め、地球社会の一員として自分の意見を発信できるようにする（市民としての社会的責任）。	2回生以上	後期	○	◎				△
1210053A2	文化メディア学特殊研究	学問の多様性、視点の多角性、資料の表裏…研究対象を考える際、真正面からだけではなく、ナナメ、ヨコ、ウラから攻める楽しみを伝授します。私の研究のキーワードのひとつに「邪推」がありますが、「邪推」が意外にも研究には効果的であることを学んでもらえると思います。学問の勧め…どんな対象でも学問になることの楽しみをお伝えできれば幸いです。	2回生以上	後期集中		○	○			○
1210054A2	文化人類学特殊研究	稲作と農耕儀礼、神事芸能との関係性について、文化人類学と民俗学の視点からの理解を目指します。日本の稲作とアジアの稲作との関係、稲作と民俗宗教、民俗芸能との関係性を理解する能力を涵養します。	2回生以上	前期		○			○	
1210055A2	文化社会学特殊研究	●現代社会において文化遺産が存在する意味を、博物館学や文化財保存科学の観点ではなく、社会的に分析・考察する視点を身につけることを目標とする。 ●資料収集などの方法論も習得する。	2回生以上	後期			◎			○
1210056A2	観光文化論特殊研究	観光に関する基本知識はもちろん、観光に対する学問的な見方、考え方を身につけていただきます。	2回生以上	前期	◎	◎	○	○		○

1210059A2	文化地理学特殊研究	<p>1 都市をめぐる文化や社会の動向について学びます</p> <p>2 フィールドワークやデータ分析などのノウハウを学びます</p> <p>3 メディア（マスコミ）系への志向が強い受講者に役立つ内容を目指します。</p> <p>4 文化地理学の視点および方法を伝授します。</p>	2回生以上	後期	○	◎	○	◎	○
1210060A2	地域メディア論特殊研究	<p>日本のメディア史の概要を知る（汎用的知識）</p> <p>メディアの観点から地域調査を行う方法を知る（専門的知識）</p> <p>地域メディアについて知る（専門的知識）</p>	2回生以上	前期		○	○		◎
1210061A2	マスメディア論特殊研究	<ul style="list-style-type: none"> ・「非対面接触」「流動化」に関する先行研究や、その事例を理解し、自分の考えを述べることができる。 ・メディアやコンテンツによって現実空間にいかなる場所性が付与されるようになっているかを具体的に説明できる。 ・「アニメ聖地巡礼」の現象の現状について、社会学的な視点から分析することができる。 ・また、学習内容を応用して、現代社会の文化を考察することができる。 	2回生以上	前期	○	○	○		◎
1210065E2	日本史講読A	研究論文を正確に理解し、まとめ、批判する能力を身につける。	2回生以上	前期		◎	◎		
1210066E2	日本史講読B	<p>言葉のひとつひとつ、それ自体が世界です。それはけっして世界《外》のものではありません。自然が花を咲かせるように、宇宙が呼吸するように、ひとは言葉を話すのです。歴史の史料もまた同じです。史料がそうした自然の一部と感ぜられる場合にのみ、いいかえればそれほど深い場所で史料に書かれた言葉を読み込む場合にのみ、歴史の真実は可能になります。</p> <p>歴史は科学なのか、人文学なのか、そのことをたえず問いかけることを求めています。</p>	2回生以上	後期		◎	◎		

1210067E2	日本史講読C	漢文史料を正確に読解できる基礎的力を身につける（汎用的スキル）。 『続日本紀』の扱う平城京時代の歴史に関し、特に外交記事に留意しつつ様々な知識を獲得する（知識・理解）。 関連する史料を探索・読解し、先行研究を批判的に読むことで、研究に必要な思考力の基礎を養う（創造的思考力）。	2回生以上	後期		◎	◎		
1210068A2	東洋古代史講読	中国の古典的漢文の読解力、史料操作の基礎力を身につける（異文化理解）	2回生以上	後期			○		
1210069A2	東洋史講読A	中国の古典的漢文の読解力、史料操作の基礎力を身につける（異文化理解）	2回生以上	前期		◎	◎		
1210070E2	東洋史講読B	・研究文献を扱うための基本的な方法論を学び、歴史研究への理解を深める（知識・理解）。 ・歴史学に必要な英文読解力を身に付ける（汎用的技能）。	2回生以上	後期		◎	◎		
1210071E2	西洋史講読A	(1) 西洋史の基礎知識を身につける。 (2) ジェンダーの歴史について多角的に把握する。 (3) 歴史記述について批判的に事実確認をしていく能力を身につける。 (4) 歴史について議論をする姿勢を養う。	2回生以上	前期		◎	◎		
1210072E2	西洋史講読B	授業全体を通して、西洋史の知識を身につけ、歴史学の方法を学ぶことで、異文化に対する理解を深める。講読を通して、英語で文献を読む力を養う。口頭報告を通して、参考文献（日本語）を読解・要約し、他者に伝える力を養う。	2回生以上	後期		◎	◎		
1210074A2	考古学講読B	学術的な英文の学術論文の探し方・入手方法・読み方を身につけるとともに、欧米の考古学研究の現状を学び、幅広い学際的視野を獲得する。	2回生以上	後期			○		
1210078A2	社会情報学入門講読A	●社会的なものを見方を身につける（知識・理解） ●専門的な文献を精読し批判的に検討する力を鍛える（汎用的技能） ●文献の要点を効果的に提示するプレゼンテーション・スキルを磨く（汎用的技能）	2回生以上	前期			◎		

1210079A2	社会情報学入門講読B	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的な視点から、現代社会についての理解を深める（知識・理解） ●専門的な文献を精読し批判的に検討する力を鍛える（汎用的技能） ●文献の要点を効果的に提示するプレゼンテーション・スキルを磨く（汎用的技能） 	2回生以上	後期			◎		
1210080A3	社会情報学専門講読A	<p>この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。社会生活の諸側面における文化的差異に関する基本的理解（知識・理解）。専門的な文献を精読し理解する能力（汎用的技能）。文献中の事例や典拠を検索し批判的に検討する能力（汎用的技能）。文献の要点を効果的に提示するプレゼンテーション・スキル（汎用的技能）。</p>	3回生以上	前期			◎		
1210082B2	地域環境学入門講読A	<p>大学で学ぶ地理学の基礎となる知識や概念を英文で理解できる能力を身につけてもらいます。また、より専門的な地理学的研究に必要な概念・用語を学びながら、英語文献に書かれた内容を理解し、研究対象を捉える視点や分析・考察の方法を学びます。この過程で、既存論文を批判的に読む技術を身につけ、学問的な議論を行うための能力を高めます。</p>	2回生以上	前期	△	○	◎		
1210084B3	地域環境学専門講読A	<p>文献の精読を通して研究の問いの立て方を学び、対象に向かう方法を習得するとともに、専門的な内容についてより深い知識・理論を獲得し、論理的に問題を考察することができるようになることが目標である。</p>	3回生以上	後期	△	○	◎		
1210085B3	地域環境学専門講読B	<p>人文地理学（とくに社会地理学・都市地理学）を学ぶために、海外での新しい研究動向を英語文献の講読によって習得する〈知識・理解〉。人文地理学における必要なテクニカルタームを学びながら、テキストに書かれた内容を理解し、研究テーマを考えるにあたっての視点や研究対象への分析方法を理解する〈理論的思考力〉。</p>	3回生以上	前期	△	○	◎		

1210086B2	文化メディア学 講読A	<ul style="list-style-type: none"> ●専門的な研究文献を精読する力をつける ●読んだ文献から得られた知見を現代社会の分析に応用する力を磨く ●文献の中に登場する典拠資料（動画サイト含む）を探し当てて再検討する訓練をする ●メディア論に関する基礎知識を得てもらうため、毎週数ページ、各自のペースで辞典的書物（要購入）を読んだうえで授業に臨む 	2回生以上	前期	○		◎		○
1210087B2	文化メディア学 講読B	大衆文化、若者文化を、その社会的・文化的背景から学びます。マスメディア系のお仕事を目指す履修者と一緒に、戦後日本の大衆文化の展開を深く考えたいと思います。	2回生以上	後期		◎	○		◎
1210088E2	文化メディア学 講読C	文化人類学と考古学という、資料の違いを乗り越えて形成された共通理論の理解を目指します。あわせて、北米少数民族とその文化を理解する能力を涵養します。	2回生以上	後期		○			
1210089D2	なら学 フィールドワーク 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の自治体や団体の方と協働できるスキルを養う（汎用的知識）。 ・フィールドワークの初歩の知識を学び経験する（専門的知識） 	2回生以上	前期		○		◎	○
1210090D3	古代文化学 野外実習	<p>野外調査の方法（見学先等との連絡調整などを含む）を身に付ける（汎用的技能；コミュニケーション・スキル）。</p> <p>全員の協力によって、フィールドワークの計画を立てて実行する（態度・志向性；チームワーク、リーダーシップ）。</p> <p>発表を通じてプレゼンテーション能力の向上を図る（汎用的技能）。</p>	3回生以上	前期集中				○	
1210092D2	古代文化学 実習B	出土遺物の実測、拓本、測量の方法を学び実践することにより、考古遺物を資料化する技術を習得する。	2回生以上	前期					○
1210093D2	古文書学 実習A	「日本的」と称される漢文を読む力、それらを歴史を考える資料―史料―として読む力を身につける。	2回生以上	前期		◎	◎		
1210094D2	古文書学 実習B	日本中世の漢文史料を読みくだし、理解する能力を身につける。なお、歴史学コースで日本史（特に平安時代から江戸時代）の卒論を書く予定の学生は、古文書学実習A・B両方を受講しておくことが望ましい。	2回生以上	後期		◎	◎		

1210095D2	史料学実習	歴史学研究において利用できるさまざまな情報機器・ソフトを用いた実習を通じて、自分で情報を整理し、研究を進め、内容を分かりやすくまとめる能力を身につける。	2回生以上	後期			◎		
1210096D3	歴史学実習	歴史の現場に立ち、広範囲を歩きまわり、残された遺物を見て、歴史的にものを考える能力を身につける。	3回生以上	後期		◎	○	◎	○
1210097D3	社会調査実習Ⅰ	社会調査データの扱いについての知識と方法、技術を身につけた上で（汎用的技能）、調査を企画・設計するために協調して作業を進めることを通して（態度・志向性）、質問紙調査を計画・実行する力を身につける。	3回生以上	前期				○	◎
1210098D3	社会調査実習Ⅱ	質問紙を用いた社会調査を協力しつつ実施し（態度・志向性）、それにより得られた回答をデータ化・集計・分析していくのを体験し、調査によって得られた情報を統計データとしてまとめていく方法を身につける（汎用的技能）。	3回生以上	後期				○	◎
1210099D2	地域情報学実習Ⅰ	基本的なデータ処理の方法から多変量解析の方法まで、コンピュータを用いて地域データを分析するスキルを身につける（汎用的技能）。	2回生以上	後期			◎		○
1210100D2	地域情報学実習Ⅱ	基本的なデータ処理の方法から多変量解析の方法まで、コンピュータを用いて地域データを分析するスキルを身につける（汎用的技能）。	2回生以上	後期			◎		○
1210101D2	コミュニティ・リサーチ	（１）地域コミュニティの現状と問題についての知識を深める（知識・理解） （２）地域の現状を把握するための社会調査の技術を実践的に身につける（汎用的技能）。 （３）さまざまな世代・職業の人々とコミュニケーションを図り、協同で作業をすることができるような、コミュニケーションやプレゼンテーション・スキルを高める（汎用的技能）。 （４）コンテンツを制作する発想力・創造力を身につける（汎用的技能）	2回生以上	不定期				◎	○

1210102D2	コミュニティ・アクション	<p>(1) 地域コミュニティの現状と問題についての知識を深める(知識・理解)</p> <p>(2) 地域の現状を把握するための社会調査の技術を実践的に身につける(汎用的技能)。</p> <p>(3) さまざまな世代・職業の人々とコミュニケーションを図り、協同で作業をすることができるような、コミュニケーションやプレゼンテーション・スキルを高める(汎用的技能)。</p> <p>(4) コンテンツを制作する発想力・創造力を身につける(汎用的技能)</p>	2回生以上	不定期				◎	◎
1210103D2	地域環境学実習Ⅰ	<p>自然環境とかかわる各種データの地図表現・空間表現の手法、自然環境指標のデータ化・データ取得方法、自然地理学的な側面から各種の地域調査を実施する場合の調査・研究手法、などを身につける(汎用的技能)。</p>	2回生以上	前期		○	◎	○	
1210104D2	地域環境学実習Ⅱ	<p>地理学ならびに位置情報や地理情報を利用する関連分野におけるフィールド調査に結びついたデータの収集・整理・表示方法を習得することを目標とします。ウェブ地図などの利用、GPSなどによる位置情報の記録手法、誰もが自由に使える地理情報の作成、ウェブGISを用いて、フィールド調査データを記録し、共有する具体的な方法を習得します。</p>	2回生以上	後期		○	◎	○	
1210105D2	文化メディア学実習A	<p>フィールドワークに必須の写真撮影と映像撮影の撮影技術の習得を目指し、さらにコンピューターを利用した画像編集と映像編集等の総合的な編集能力を涵養します。</p>	2回生以上	後期				○	
1210106D2	文化メディア学実習B	<ul style="list-style-type: none"> ・文化地理学、歴史地理学の基本を伝授します。 ・テレビ、新聞、雑誌などマスコミ記者を目指す受講者に地域での取材の基礎を習得します。 ・地域社会、地域文化を理解する視点、方法を体験学習していただきます。 	2回生以上	前期集中		○	◎	◎	○
1210107D2	文化行政学インターンシップA	<ol style="list-style-type: none"> 1) 文化企画・発信のノウハウを体験する。 2) プレゼンテーション、様々な交渉事を体験する。 3) 文化行政の業務を実践的に学ぶ。 	2回生以上	前期集中				◎	○

1210108D2	文化行政学インターシップB	1) 文化企画・発信のノウハウを体験する。 2) プレゼンテーション、様々な交渉事を体験する。 3) 文化行政に関する業務を学ぶ。	2回生以上	後期集中					◎	○
1210109E3	地域環境学巡検	文献・資料の収集方法やフィールド調査の技能を身につけ（汎用的技能）、調査地域の特質について理解を深める（知識・理解）。また、地域が抱える問題を発見し、それを解決する方策（問題発見および解決力）を、授業内や調査実習中におけるディスカッションに積極的に参加して検討する（態度・志向性）。	3回生以上	前期		○	○	◎	○	
1210110B3	なら学演習	研究テーマの発見と課題の探求、さらにプレゼンテーションの能力等を涵養します（汎用的スキル）。伝統文化の現代的活用などについて知識を得る（専門的知識）	3回生以上	後期		◎	○	○	○	
1210111B3	古代文化学演習	古代文化に関する卒業論文のための基礎学力の蓄積（知識・理解）及び発表能力を養成するとともに総合的な学習経験を通じて創造的思考力を身につける（汎用的技能）。	3回生以上	後期		○			◎	
1210114B2	古代学・歴史学基礎演習	図書館情報、インターネット情報の使い方の習熟 観察と考察を通じて論理的思考力と表現力を養う	2回生以上	前期	○				◎	
1210116B3	日本史演習Ⅱ	史料を正確に読み、調査をし、考え、判断する能力を身につける。	3回生以上	後期		◎	◎			○
1210117B3	日本史演習AⅠ	平安時代の世界観の一端を説話を通して理解する。また説話を、歴史を描くためのひとつの史料として読み、そこから問いを立て考える力を養う。	3回生以上	前期		◎	◎			○
1210118B3	日本史演習BⅠ	《時代》を総合的に理解・把握するための基礎的な思考力を身につけること。討論のための論理力も身につけること。	3回生以上	前期		◎	◎			○
1210119B3	日本史演習CⅠ	・ 古代史研究の到達点や研究方法を理解する（知識・理解）。 ・ 理解を基礎に、批判力・論理的思考力を身につけ、さらに発表・議論の仕方を向上させる（汎用的技能）。 ・ 日本古代のアジア史における位置づけを知る（異文化理解）	3回生以上	前期		◎	◎			○

1210120B3	東洋古代史演習Ⅰ	長い書物のまとめ、発表の仕方、レジュメの作り方を身につける（汎用的技能）	3回生以上	前期			○		◎
1210121B3	東洋古代史演習Ⅱ	学説史の整理、発表の仕方、レジュメの作り方を身につける（汎用的技能）	3回生以上	後期			○		◎
1210122B3	東洋史演習Ⅰ	歴史学の「勉強」から「研究」へと一歩踏み出す（汎用的技能）。	3回生以上	前期		◎	◎		○
1210123B3	東洋史演習Ⅱ	自分で学習・研究テーマを設定して遂行する手法を学ぶ（汎用的技能）。	3回生以上	後期		◎	◎		○
1210124B3	西洋史演習AⅠ	(1) 西洋史に対する理解を深める。 (2) 最近西洋史研究で取り上げられているテーマに対する理解を深める。 (3) 自分のテーマを選び、そのテーマについて自分で勉強するためのさまざまな準備をおこなう。	3回生以上	前期		◎	◎		○
1210125B3	西洋史演習AⅡ	自分のテーマを自分で勉強するためのさまざまな準備をおこなう。 (1) 文献を広く利用する力を養う。 (2) 論文論述法を修得する。 (3) 論文執筆に必要な歴史的知識を獲得する。	3回生以上	後期		◎	◎		○
1210128B3	考古学演習Ⅰ	先行研究（学史）を整理し、問題を発見・設定し、議論を行うなかで、論理的な思考を身につける。	3回生以上	前期				○	◎
1210129B3	考古学演習Ⅱ	先行研究（学史）の整理と問題設定を行いテーマを明らかにし、論文の書き方を学ぶ。	3回生以上	後期				○	◎
1210132B3	日本美術史演習Ⅰ	日本美術史に関する基礎的知識を獲得する。 日本美術史の最新の研究動向を把握する。 作品に関する文献を調べ、それに関する自分の考えをまとめることができる。 自分が興味を持ったテーマについて論文を書くためのスキルを身につける。	3回生以上	前期			○		◎

1210133B3	日本美術史演習Ⅱ	日本美術史に関する基礎的知識を獲得する。 日本美術史の最新の研究動向を把握する。 作品に関する文献を調べ、それに関する自分の考えをまとめることができる。 自分が興味を持ったテーマについて論文を書くためのスキルを身につける。	3回生以上	後期				○		◎
1210134B3	地域環境学演習Ⅰ	人文地理学および環境社会学の主要学術論文のレビューを通じて地域がはらむ諸問題への理解を深めるとともに（知識・理解）、課題発見能力や問題解決力を養い、翌年度の卒業論文作成を視野に入れて、地域研究の手法・手順を学ぶ（汎用的スキル）。また、主要学術論文のレビューを授業内で発表し、受講生全員で検討することによって、議論に関わる積極的な態度を身につける（態度・志向性）。	3回生以上	後期			○	◎		
1210135B3	地域環境学演習Ⅱ	自然地理学および地球科学の主要学術論文のレビューを通じて地域の自然環境がはらむ諸問題への理解を深めるとともに（知識・理解）、課題発見能力や問題解決力を養い、翌年度の卒業論文作成を視野に入れて、地域研究の手法・手順を学ぶ（汎用的スキル）。また、主要学術論文のレビューを授業内で発表し、受講生全員で検討することによって、議論に関わる積極的な態度を身につける（態度・志向性）。	3回生以上	前期			○	◎		
1210136E2	地域探究実践演習	農山村を中心とした「地域社会」が現在いかなる問題を抱えているのかを知る（知識の獲得、異文化理解）。そして、それらの問題がどのような背景から生み出されたものか多面的に検討し、地域社会についての理解を深めるとともに、課題解決への道を探る（問題解決力、社会的責任）。	2回生以上	後期			△		◎	○
1210138B3	地域メディア論演習	1, 現代の文化現象を学術的に調査・分析する方法の基礎を学ぶ（汎用的知識）。 2, 1の方法を用いて、現代文化現象の調査・分析を試み、またそれをプレゼンテーションする過程を体験する（汎用的スキル）。	3回生以上	前期			○	◎	○	○
1210139B3	文化人類学演習	テーマの発見と課題の探求、プレゼンテーション能力、民族と生活文化の多様性を理解する能力を涵養します。	3回生以上	前期			○			

1210140B2	文化社会学演習	<ul style="list-style-type: none"> ●問題発見能力、調査手法の開発力、情報収集力、取材力、交渉力、分析力、執筆力を身につける ●共同研究の組織化方法（相互調整能力、リーダーシップなど）と運営方法（事務処理力など）を身につける 	2回生以上	後期		○	○	◎	◎
1210141B2	文化地理学演習	地域の歴史・社会・文化に対する見方、考え方を学ぶ。文化地理学。歴史地理学の基礎知識をできるだけ身に付ける。	2回生以上	前期		◎	◎	◎	○
1210145B2	社会情報学演習Ⅰ	実践的な調査や資料収集を通じて問題を発見し、文献を参照しながら的確に整理し、結論を導くための論理的な思考力を磨く（汎用的技能）。	2回生以上	前期			◎		○
1210147B3	社会情報学演習Ⅰ	<p>この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（知識・理解）専門的な文献を精読し理解する能力。 ●（汎用的技能）文献中の事例や典拠を検索し批判的に検討する能力 ●（汎用的技能）文献の要点を効果的に提示するプレゼンテーション・スキル ●（総合的な学習経験と創造的思考力）自らの問題関心を関連する分野の研究動向に位置づけ、適切な資料と分析方法の選択により得られた知見を報告するスキルを身につける。 	3回生以上	前期			◎	○	
1210149B2	社会情報学演習Ⅰ	就業・格差という社会現象について、どのような観点から実証研究が展開されるのかを、いくつかの研究例に触れることを通して理解を深めていく（知識・理解）。また、関係する資料やデータを収集することを通して、実証研究の基礎となる情報をどのように得ていくのかを身に付ける（汎用的技能）。	2回生以上	前期			◎		○
1210151B2	社会情報学演習Ⅰ	<p>この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会科学の主要な基礎理論を理解すること。 ●さまざまな社会現象を社会科学的視野から洞察すること。 ●ある特定の社会現象を説明するにあたって、経験的な事実に基づいて考察する態度。 ●学術的なディベートやディスカッションに際して、自分の立場を明確にして主張を行うスキル。 	2回生	前期			◎	○	

1210146B3	社会情報学演習Ⅱ	各自の関心テーマの発見が目標である（総合的な学習経験と創造的思考力）。	3回生以上	後期			◎		○
1210148B3	社会情報学演習Ⅱ	この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。 ●自らの問題関心を関連する分野の研究動向に位置づけ、適切な資料と分析方法の選択により得られた知見を報告するスキルを身につける（総合的な学習経験と創造的思考力）。	3回生以上	後期			◎		○
1210150B3	社会情報学演習Ⅱ	関心をもつ社会現象について、先行研究の流れを意識しつつ、その研究文献をどのように収集していくか、そしてそれらをどのように検討しまとめていくかについての方法を、実践を通して身につけていく（汎用的技能）。	3回生以上	後期			◎		○
1210152B2	社会情報学演習Ⅱ	この授業を通して、学生には次の能力を身につけることが求められる。 ●自らの問題関心を関連する分野の研究動向に位置づけ、適切な資料と分析方法の選択により得られた知見を報告するスキルを身につける（総合的な学習経験と創造的思考力）。	2回生	後期			◎		○
1210165F4	古代文化学卒業論文演習Ⅰ	一人ひとりが主体的に自らの研究テーマを追求することで、卒業論文執筆のための基礎となる知識を獲得し（知識・理解）、それについてプレゼンテーションを行うためのスキルを磨き（汎用的技能）、総合的な学習経験と創造的思考力を身につける。	4回生	前期					○
1210166F4	古代文化学卒業論文演習Ⅱ	一人ひとりが主体的に自らの研究テーマを追求することで、卒業論文執筆のための基礎となる知識を獲得し（知識・理解）、それについてプレゼンテーションを行うためのスキルを磨き（汎用的技能）、総合的な学習経験と創造的思考力を身につける。	4回生	後期					○
1210167F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	優れた卒論の執筆	4回生	前期		○	◎		◎
1210168F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	優れた卒論の執筆	4回生	後期		○	◎		◎

1210169F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	卒業論文作成のための準備作業を行う（総合的な学習経験と創造的思考力）。	4回生	前期		○	◎		◎
1210170F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	卒業論文完成に向けての作業を行う（総合的な学習経験と創造的思考力）。	4回生	後期		○	◎		◎
1210171F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	卒業論文作成のための計画的準備	4回生	前期		○	◎		◎
1210172F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	自分でテーマを選び論を展開した卒業論文の完成	4回生	後期		○	◎		◎
1210175F4	歴史学卒業論文演習Ⅰ	各人が卒業論文のテーマを設定し、先行研究を正確、かつ批判的に読み込む。それと同時に、自ら設定した問題を解決するための方法・視点を考案し、問題解決に必要な史料・資料の収集と正確な分析を行う。	4回生	前期		○	◎		◎
1210176F4	歴史学卒業論文演習Ⅱ	アウトラインの作成と見直し（汎用的スキル） 資・史料の収集と再検討（知識・理解）	4回生	後期		○	◎		◎
1210178F4	社会情報学卒業論文演習Ⅰ	卒業論文作成に必要な、文献・資料の収集方法と読解力、分析技術、論理的な文章構成力などを身につける（総合的な学習経験と創造的思考力）。	4回生	前期			○		◎
1210179F4	社会情報学卒業論文演習Ⅰ	社会学理論の応用および調査技術の実践を通して、現実の社会現象に関する論理的思考力、問題解決力およびプレゼンテーション・スキル（汎用的技能）を高める。あわせて研究計画の立案から実施に至るまでの自己管理能力を身につけるとともに、社会調査倫理の実践的習得を通じて倫理観や市民としての社会的責任を養う（態度・志向性）。	4回生	前期			○		◎

1210180F4	社会情報 学卒業論 文演習Ⅰ	卒業研究の基本的枠組みを検討した上で決定し、必要となる諸情報・材料をどのように収集するか の計画を確定する。学習の集大成として、知識や技能などを総合して自らの研究テーマに取り組み、 創造的に考えること（総合的な学習経験と創造的思考力）、さらに卒業後も新たな知識を積極的に探求することができる力を養う（態度・志向性）。	4回生	前期				○		◎
1210182F4	社会情報 学卒業論 文演習Ⅱ	卒業論文作成に必要な、文献・資料の収集方法と読解力、分析技術、 論理的な文章構成力などを身につける（総合的な学習経験と創造的思考力）。	4回生	後期				○		◎
1210183F4	社会情報 学卒業論 文演習Ⅱ	社会学理論の応用および調査技術の実践を通して、現実の社会現象に 関する論理的思考力、問題解決力およびプレゼンテーション・スキル（汎用的技能）を高める。あ わせて研究計画の立案から実施に至るまでの自己管理能力を身につけるとともに、社会調査倫理の 実践的習得を通じて倫理観や市民としての社会的責任を養う（態度・志向性）。	4回生	後期				○		◎
1210184F4	社会情報 学卒業論 文演習Ⅱ	研究枠組みに則った資料やデータを収集・整理し、それをふまえた検討を行 った上で、卒業論文としてまとめる。学習の集大成として、知識や技能などを総合して自らの研 究テーマに取り組み、創造的に考えること（総合的な学習経験と創造的思考力）、さらに卒業後 も新たな知識を積極的に探求することができる力を養う（態度・志向性）。	4回生	後期				○		◎
1210186F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅰ	自然、環境、地域、社会、産業、文化に関わる地域環境学の研究法につ いて、計画立案、フィールドワーク、プレゼンテーション・論文作成の技能を身につける（汎用的 技能）。	4回生	前期				○	○	◎
1210187F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅰ	人文地理学・地域研究に関わる研究法について、文章表現、プレゼン テーション・論文作成の技能を身につける。	4回生	前期				○	○	◎
1210188F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅰ	自然地理学・地域研究に関わる研究法について、文章表現、プレゼン テーション・論文作成の技能を身につける。	4回生	前期				○	○	◎

1210189F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅰ	人文地理学（とくに社会、都市、 経済地理学的視点やジェンダーの 視点からの研究）に関わる研究法 について、文章表現、プレゼン テーション・論文作成の技能を身 につける。	4回生	前期			○	○	◎
1210191F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅱ	自然、環境、地域、社会、産業、 文化に関わる地域環境学の研究法 について、計画立案、フィールド ワーク、プレゼンテーション・論 文作成の技能を身につける（汎用 的技能）。	4回生	後期			○	○	◎
1210192F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅱ	人文地理学・地域研究に関わる研 究法について、文章表現、プレゼ ンテーション・論文作成の技能を 身につける。	4回生	後期			○	○	◎
1210193F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅱ	自然地理学・地域研究に関わる研 究法について、文章表現、プレゼ ンテーション・論文作成の技能を 身につける。	4回生	後期			○	○	◎
1210194F4	地域環境 学卒業論 文演習Ⅱ	人文地理学（とくに社会・都市・ 経済地理学的視点やジェンダーの 視点からの研究）に関わる研究法 について、文章表現、プレゼン テーション・論文作成の技能を身 につける。	4回生	後期			○	○	◎
1210195F4	文化メ ディア学 卒業論文 演習Ⅰ	多様な文化を、多角的かつ実証的 に調査研究し、さらには独創的な 論理や提案、発表方法する体験を します。文化メディア学コースの 卒業研究は、従来の「卒論」形式 にこだわらず、「卒業制作＋解説 論文」でも構いません。ともか く、この授業は、社会に巣立って からも役立つ独創力、構想力、説 得力（論理力）などを磨く場 です。	4回生	前期			◎	○	◎
1210196F4	文化メ ディア学 卒業論文 演習Ⅱ	多様な文化を、多角的かつ実証的 に調査研究し、さらには独創的な 論理や提案、発表方法する体験を します。文化メディア学コースの 卒業研究は、従来の「卒論」形式 にこだわらず、「卒業制作＋解説 論文」でも構いません。ともか く、この授業は、社会に巣立って からも役立つ独創力、構想力、説 得力（論理力）などを磨く場 です。	4回生	後期			◎	○	◎
1210200F4	卒業論文	一人ひとりが主体的に自らの研究 テーマを追求することで、卒業論 文執筆のための基礎となる知識を 獲得し（知識・理解）、それにつ いてプレゼンテーションを行うた めのスキルを磨き（汎用的技 能）、総合的な学習経験と創造的 思考力を身につける。	4回生	その他					◎

1210201F4	卒業論文	卒業論文を作成・提出する。	4回生	その他		◎	◎		◎
1210202F4	卒業論文	卒業論文	4回生	その他			○		◎
1210203F4	卒業論文	国内外でフィールドを設定し、地域の中に潜む問題を発見し、解決に必要なデータを収集し、説得力のある論理展開を作文して、自分なりの問題解決法を提示することを目指す。	4回生	その他			○	○	◎
1210204F4	卒業論文	多様な文化を、多角的かつ実証的に調査研究し、さらには独創的な論理や提案、発表方法する体験をします。文化メディア学コースの卒業研究は、従来の「卒論」形式にこだわらず、「卒業制作＋解説論文」でも構いません。ともかく、この授業は、社会に巣立ってから役立つ独創力、構想力、説得力（論理力）などを磨く場です。	4回生	その他			◎		◎